

科目名	景観工学	科目コード 51640
-----	------	----------------

学科名・学年	環境都市工学科 5 学年 (プログラム 2 学年)	担当教官	宮腰 和弘 (環境)		
単位数	1 単位・選択	開講期間	後期	時間数	30 時間
				内訳(時間)	講義(28), 演習(0) 実験(0), その他(2)
教科書					
補助教材	プリント				
参考書	篠原 修： 土木景観計画 (新体系土木工学 59) (技報堂) 樋口忠彦： 景観の構造 (技報堂)				

A 科目の概要	
<p>基盤施設の建設に際して考慮すべき、景観との調和について考察する。景観把握モデルに関する学習を中心とし、景観計画の意義・目的・方法などについて学習する。</p>	
B 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観の土木建築構造物に対する調和について理解する。</li> </ul>	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(D)
D 履修上の注意	
<p>景観工学の先駆者の著したものを手がかりに、景観の問題の考え方を整理する。</p>	
E 評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観の土木建築構造物に対する調和について理解したことを筆記試験(80%)とレポート(20%)によって確認し評価する。</li> </ul> <p>定期試験【80%】(前期中間(0), 前期末(0), 後期中間(0), 後期末(80))、その他の試験【0%】、レポート【20%】、その他【0%】の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格点とする。</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	景観計画の意義	
2	景観の目的と役割	
3	景観分析の基礎指標(1)	
4	景観分析の基礎指標(2)	
5	景観分析の基礎指標(3)	
6	景観の捉え方	
7	景観把握モデル(1)	
8	景観把握モデル(2)	
9	シーン景観把握モデルによる土木景観の把握	
10	景観現象と把握法の整理	
11	景観のタイプ	
12	景観計画の方法 緑地 伝統環境保存	
13	景観基本法及び景観条例等	
14	試験	
15	試験結果の解説	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		